

事業所名

重症児デイサービスmiki

支援プログラム

作成日

R7 年

2 月

14 日

法人(事業所)理念		I. どんなに重い障がいがあっても生まれ育った地域で暮らすことができる II. 医療的ケアや重い障がいのある子ども達とご家族の笑顔と夢見る気持ちを支える III. 地域生活の実現＝地域で一人暮らしができるということ IV. 重い障がいを持つ子どもたちがより楽しい時間を過ごして笑顔になれるように支える V. 地域の幹となってたくさんの枝や葉っぱやお花や実がなりますように				
支援方針		I. 子どもが全ての中心ということ II. 障害の有無に関係なく子どもが子どもらしくいれること、家族が家族でいれること III. 様々な職種で協力して子どもたちと関わること IV. 子どもにとって家族にとって安心安全な場所であること				
営業時間		営業日および営業時間: 月曜日から土曜日及び必要に応じ法人が定めた日曜日 ただし、12月29日から1月3日を除く。 9時30分～17時30分 サービス提供日およびサービス提供時間: 通学日: 13時～17時 学校休校日: 10時～16時 休所日: 日曜日、12月29日～1月3日	送迎実施の有無	あり	なし	一部送迎実施(応相談)
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	バイタルチェック、全身状況を把握し、安心安全に過ごしていただけるよう看護師を中心として、ケアを行っています。呼吸器管理や吸引、胃腸からの栄養注入など医療的ケアの必要な児に多く利用していただいているため、ご家族からの聞き取りを細かく行い、より児にあわせたケアが行えるようにサポートします。また、学校生活とのギャップをできるだけ少なくできるように、ケア方法の提案などをさせていただきます。日中の姿勢に関して、寝たきりにならないように児にあわせてできる限り色々な姿勢を安全に取れるようにサポートします。				
	運動・感覚	活動・遊びを通して、児にあわせた発達の促しを行います。機能訓練指導員が評価を行い、児に合わせた遊び姿勢の提案、遊び方の提案を行います。自ら動くことが難しい児が多いため、刺激量を調整しながら、過敏を改善し、楽しめる感覚を増やしていけるようにサポートします。活動も運動・製作など五感(視覚、聴覚、味覚、臭覚、触覚)を通じた活動を提供していきます。また音楽療法を通して、姿勢維持や筋力の向上、空間認知やボディイメージの向上を図ります。				
	認知・行動	活動・遊びを通して、興味の幅を広げていけるようにサポートします。遊びの中で、物を見る、音を聞く、お話をする、物を選ぶなど、認知⇒行動に繋げていけるようなサポートを行っていきます。音楽療法を通して、認知・行動の幅を広げていけるよう支援します。音楽療法を通して自己や他者の認知を深めていきます。また、自己決定力を育て、自己実現を支援します。				
	言語 コミュニケーション	ご家族や学校と連携をとり、接し方がばらついて児が混乱しないように声の掛け方や接し方を統一していきます。場面に応じた児の反応を汲み取り、共有共感することで、感情のバリエーションや感情表現の方法を増やしていけるようサポートを行います。音楽療法を通して気持ちを表出する援助をします。また、自己表現を引き出したり、他者とのコミュニケーション能力を高めます。				
	人間関係 社会性	家族、学校のお友達や先生、病院のスタッフ以外のコミュニティでお友達を増やしていけるようにサポートします。お友達とのふれあいやスタッフとのふれあいを通して、周囲への興味を広げるサポートをします。集団生活の中で社会性や協調性が身に着けられるようにサポートを行います。音楽療法や防災訓練を通して、社会性の向上を促します。				
家族支援		ご家族勉強会、ご家族交流会の開催、SNSを通して児の様子発信、デイを利用することでご家族のレスパイトおよび就労を支援します。定期的に家族面談を実施しお子さんやご家族の意向を確認しながら支援の方向性を協議します。	移行支援	あり	児の能力に合わせて、適切なサービス移行をご相談させていただきます。	
地域支援・地域連携		西区自立支援連絡協議会、全国重症児者サービス・ネットワーク、地域防災への取り組み、西区医ケアを考える会等への参加 地域行事への参加(夏祭り等)、地域と共同イベントの開催	職員の質の向上	あり	毎月のZOOM勉強会開催 社会福祉協議会等、他団体主催の勉強会への参加(推奨) 資格取得補助	
主な行事等		春・夏・秋・冬の季節ごとのイベントを地域の方と交流を行いながら展開、まいゆめふえず開催(年1回)				